（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	島袋　恒男	所　属	子ども地域教育コース	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	①授業で「出欠票」を作成し出欠を確認する。学生の成長・就職に関する話題・資料を講義で取り上げ，わかりやすい授業に取り組む(ppt，ビデオ，学生への問いかけの重視等を取り入れる)。一部講義で簡単な「振り返り」を実施する。 ②演習・卒論・大学院研究指導において学生の意見を重視し主体的な学びを育成し，統計指導に基づく研究指導・教育を重視する。	0.30	「出席票を作成し出席をチェック,講義内容の振り返り実施」。PPTによる授業の実施。「ビデオ学習により青年期の発達・進路指導・職業」に関する学習に取り組ませ記述・まとめる力を重視。届け出欠席の学生は補講・レポートで対応。卒論・修論指導では「主体性を重視し，自らの力で調査・分析を重視し，卒論・修論を作成させる。修論では構想発表させる(3月予定)。
研究	0.30	①学力向上の実践に関するデータを論文として公表する。 ②大学生のキャリア教育と支援に関する研究に取り組み論文を発表する。 ③上記に関する学会発表・シンポを行う④学外との学力向上の共同研究に取り組む。	0.30	「学力向上に関する研究発表2件（日心）」。教心総会で「沖縄の学力問題」のシンポ・企画実施。「学力・キャリア発達の論文は未完成・準備中」，小学校での学力向上の企画に参加、成果の確認調査3月予定。
社会貢献	0.25	①u市小学校の学力向上に関して連携し実践する(予定) ②必要に応じ学力向上・キャリア教育に関する教育委員会と学校現場への支援・研修等に従事する ③，教員免許更新講習に従事する。 ④小学校学校評議員に従事する。　④日教心大会副委員長に従事する。	0.25	小学校との連携で「学力向上のための研修と学力向上の実施に従事し、校内研修会と授業研究に参加、院生も参加させる。学生ボランティアを派遣。小学校の「学校評議員」に従事。・外教頭会で「学力向上」の講演。教委・小学校で「キャリア教育」講演2件。「免許更新講習講師に従事。・県「公私立高校協議会」委員長に従事。教心54回総会副委員長に従事。
管理運営	0.10	①免許更新室実施委員会委員。委員に従事する。一年次指導教員。	0.05	免許更新室運営委員会委員長に従事し次年度の必修領域実施要項の作成に関わる。県市町村連絡協議会WG委員　・1年次指導教員
進路指導	0.05	①必要に応じ学部の就職支援に参加する②懇談会等・学生の求めに応じて就	0.10	コース学生・受講学生の教採相談に応じ情報提供。数名の「就活相談」を実施。就職センター「教採講座」の紹介。教採勉強会実施。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	佐久間　正夫	所　属	子ども地域教育コース	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	「教育原理」「教育行政学」「教育法」（以上、学部）の授業では、教職課程で学ぶ学生に、「教育とは何か」「学校ってどのようなところであろうか」について考えさせることを、最終的なねらいとし、一層充実した教育の基礎理論を伝えることを目標に、授業の改善をめざす。また、大学院の「教育行政学特論」「教育行政学特論演習」においては、研究という側面を重視しつつ、上記のねらいの達成もめざす。	0.30	・・・授業テーマに関する独自の資料準備を行なうことができた（どの授業も、No.1～No.70程度）。大学院の授業では、研究面を重視した資料作成や授業構成に努め、例えば、自らの研究成果である、2006年教育基本法の問題点、宮古教育基本法や八重山教育基本法、奄美教育基本法の成立事情、八重山の教科書採択問題などを盛り込むことができた。
研究	0.35	これまで行なってきた、戦後占領初期の宮古・八重山・奄美、そして、沖縄本島における教育改革に関する基礎的な資料調査・収集・聞き取り調査を継続して実施する。本年は奄美を中心にフィールドワークを行ない、奄美の戦前の教育と戦後の教育改革の実態解明を行なうこととする。以上の成果を、『学部紀要』に発表する。また、2006年の教育基本法改正との関連で、「教育法」の授業実践報告論文を、『実践センター紀要』にまとめる。	0.35	・・・『学部紀要』第81集に、研究論文「『教育法』授業実践報告―八重山の教科書採択問題を中心に―」を掲載した。また、これまで行なってきた、戦後占領初期の宮古の教育改革に関する研究論文、「戦後占領初期の沖縄における教育改革に関する研究（1）―宮古教育基本法と教科書編集事情を中心に―」を、『学部紀要』第82集に投稿した。『教育実践総合センター紀要』には、「琉球大学の教職課程で学ぶ学生の『体罰』に関する意識について」と題する研究論文を投稿した。
社会貢献	0.20	教員免許状更新講習の講師を務める（8/16,17：教育の最新事情）。また、沖縄県私立学校審議会委員として、審議会に出席し、その職責を果たす。これまでと同様、県内の諸機関・団体から講演等の依頼があれば、応じる。	0.20	・・・教員免許状更新講習の講師を務めた（8/16,17：教育の最新事情）。沖縄県私立学校審議会委員を務めているが、2012年度第1回審議会（9月20日〔木〕）に出席した。琉球新報社より、学力調査の結果などについて意見を求められ、コメントを行なった（例えば、2012年8月13日付琉球新報）。
管理運営	0.10	学部では、教室主任（旧教育学教室、教育学講座）、子ども地域教育教室2年次の指導教員を務める。全学の委員会関係では、琉球大学教育改善等委員会及び、教員養成運営委員会の委員に選出されている。それぞれの委員会の会議出席を初めとして、個々の委員会の仕事を確実に遂行する。	0.10	・・・旧教育学教室の主任を務めた。子ども地域教育教室2年次の指導教員を務め、学生の履修指導を初め、3年次でのゼミ決めについての指導を行なった。全学的には、琉球大学教育改善等委員会及び、教員養成運営委員会の委員に選出されており、それぞれの委員会の会議に出席した。
進路指導	0.05	子ども地域教育教室1年次生の指導教員を務めるので、年次別懇談会を中心	0.05	・・・子ども地域教育コース年次別懇談会を中心に、特に教員採用試験等に関わる情報提供などを行なった。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	井上　講四	所　属	教育学部	職　名	学部長

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	・今年度から学部長を拝命し、一般授業を免除してもらっている。ただし、ゼミ指導及び社会教育実習においては、引き続きその責任を担うことにしている。ゼミ学生の学習意欲を高める工夫をさらに行うとともに、各ゼミ生の修論・卒論作成に向けてのさらなる効果的な指導を心掛ける。	0.10	一応、当初の目標は達成できた。
研究	0.10	・所属学会・各種研究会等への参加及び自主開催を行うとともに、今後の研究課題等を明確にしていく。 ・上記を踏まえての研究成果を、学会誌等に投稿する。	0.10	一応、当初の目標は達成できた。
社会貢献	0.10	・所属学会での職務（副会長・地区理事等）を、今年度もまた引き続き遂行する。 ・今年度も引き続き、沖縄県教育委員会の「生涯学習審議会」及び「学校支援地域本部事業」、浦添市の「てだこ市民大学」等の実施・運営に、委員（長）・講師として参画・協力する。	0.10	所属学会の役員を、結果的に辞退したことを除けば、一応当初の目標は達成できた。
管理運営	0.60	・今年度は、学部長を拝命することになり、教室・講座等の管理運営的な職務は直接的には行えないが、全学的・学部全体的な管理運営を遂行することになった。課題も多いので、精一杯頑張りたい。	0.60	一応、当初の目標は達成できた。
進路指導	0.10	・今年度はゼミ生が増えたが（院1年次1名、学部4年次5名、3年次5名）、引き続きこれらの学生の進路選択あるいは就職に対して、可能な限りの支援を行う。	0.10	一応、当初の目標は達成できた。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	中尾　達馬	所　属	教育学部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	今までの経験を踏まえて、授業内容をより洗練されたものへと昇華させるべく、授業準備・教材研究を徹底して行いたい（心理学的見解を日常生活に結びつける具体例の提示、双方向的授業になる工夫、視聴覚教材の効果的な使用、など）。3・4年次対象のゼミにおいては、卒業論文執筆や就職支援を念頭においた指導を行っていきたい。	0.30	前学期、後学期とも、授業については授業準備・教材研究を徹底的に行った。また、授業では、毎回、一言以上感想を書いてもらい、できるだけ双方向的に授業が展開していくように工夫すると共に、これを形成的評価の手段の一つとして活用した。また、ゼミなどにおいては、卒業論文の執筆や就職支援を念頭においた指導を展開した。
研究	0.25	日本心理学会第76回大会と九州心理学会第73回大会において，学会発表（ポスター発表など）を行う予定である。この他にも、査読論文を投稿するだけでなく、琉球大学教育学部紀要、琉球大学教育実践センター紀要に論文を寄稿する予定である。また、現在、複数の調査の研究計画を練っており、これらのいくつかを実施したい。	0.25	日本心理学会第76回大会と九州心理学会第73回大会で、発表を行った。『アタッチメントの実践と応用』（誠信書房）では、「第8章 ニート・ひきこもりを考える」を担当した。琉球大学教育学部紀要に、子どものいたずらに関する論文を寄稿し、琉球大学若手研究者支援研究費の助成を受け「沖縄県におけるニート・ひきこもり支援の現状と課題」に関する調査を実施した。
社会貢献	0.15	平成24年度免許状更新講習では、必修講習（教育の最新事情 ）において、「子どもの変化についての理解」（子どもの発達に関する最新の知見、子どもの生活の変化を踏まえた課題）について講義を行う。また、平成24年度　Advisory Staff制度に登録を行い、依頼がある場合には発達心理学的内容の講座等を提供したい。	0.15	平成24年度免許状更新講習では、必修講習（教育の最新事情 ）において、「子どもの変化についての理解」（子どもの発達に関する最新の知見、子どもの生活の変化を踏まえた課題）について講義を行った。また、平成24年度も、前年度に続き、Advisory Staff制度にも登録を行った。
管理運営	0.15	子ども地域教育コースの2年次指導教員並びに教育委員となった。そこで、学生に対する履修指導（時間割モデルや標準履修モデルの修正を含む）、前期・後期の時間割校正、年次懇談会の実施、などを通して教育学部ならびに生涯教育課程、そして子ども地域教育教室のために、尽力したいと思う。	0.15	子ども地域教育教室において、教育委員として、学生便覧の改訂や前期・後期の時間割校正、などの業務に携わった。また、2年次の年次指導教員としても、オリエンテーションの実施、年次別懇談会の実施、研究室決め（ゼミ決め）の準備などを行い、教育学部並びに生涯教育課程、そして子ども地域教育教室の管理運営に貢献することができたと考えられる。
進路指導	0.15	子ども地域教育コースの学生だけでなく、進路や就職のことについて相談してきた学生全てに対して、私の今までの経験（現職の先生方だけでなく、保育職や小学校教諭を目指す人と関わってきた経験）を伝え、何をどうすればよいのか、職業を中心とした人生設計（キャリア発達）とは何か、について一緒に考えていきたい。	0.15	進路や就職のことについて相談してきた学生（たとえば、子ども地域教育コースの3年生・4年生）に対して、私の今までの経験（現職の先生方だけでなく、保育職や小学校教諭を目指す人と関わってきた経験）を伝え、今何をどうすればよいのか、職業を中心とした人生設計（キャリア発達）とは何か、について一緒に考えることができた。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	髙橋　美奈子	所　属	教育学部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	担当している授業科目についてはシラバスに沿って授業を実施するよう努める。また、学生から積極的に授業改善への意見を聴取する機会を設け、講義のより一層の改善改良を図る。卒論指導については、卒論指導学生が2コースにまたがるため、各自の必要性に応じてゼミ以外の時間も適宜行う。	0.00	・担当科目はシラバスに沿って授業を実施した。 ・登録学生5名以上の授業では学部のアンケートを実施し、それ以外にも記述式で授業改善への意見を聴取する機会を設けた。 ・卒論指導は、オフィスアワーや当該時間以外にも学生の必要に応じて時間を設け、対応した。
研究	0.30	所属学会（日本語教育学会）では、学会員としてのみならず、評議員としても引き続き職務を遂行する。また、昨年度から取り組んでいる学外における共同研究で、「現代日本語の話しことばの実際」について引き続き調査研究を行う。さらに、学会あるいは研究会において、現在着手している研究の発表および論文投稿をめざす。	0.00	・日本語教育学会では、評議員としての任務を遂行した。 ・大学日本語教員養成協議会では、事務局としての任務を遂行した。 ・論文1本、書評1本を執筆し、発刊された。 ・共同研究では、データ収集と文字化を終了し、全体のデータを調整する任務を行っている。
社会貢献	0.10	昨年度に引き続き、アメラジアンスクールでの授業の活用、さらには一昨年度立ち上げた沖縄県内における日本語を母語としない人々への日本語支援事業を在校生・卒業生、近隣大学の学生とともに行う。	0.00	・一昨年度立ちあげた日本語支援事業は、諸事情から今期は活動することができなかったが、学校法人南西学園から依頼を受け、文化庁委託事業『平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業』（沖縄県在住外国人のための日本語教育推進事業）の「日本語ボランティア」育成講座の講師を務めた。
管理運営	0.25	「子ども地域教育コース」では、1年次指導教員ならびに学生生活委員を務める。また、旧組織の「日本語教育コース」では、コース主任ならびに4年次指導教員を務める。	0.00	・「子ども地域教育コース」では、1年次指導教員ならびに学生生活委員の任務を遂行した。 ・「日本語教育コース」では、コース主任ならびに4年次指導教員の任務を遂行した。
進路指導	0.05	指導年次学生およびゼミ生に対しては、必要に応じ、積極的に進路相談のためのオフィスアワーを開放する。また、年次懇談会を適宜開催し、就職、教職免許・資格関連等の情報提供を行う。	0.00	・1年次学生およびゼミ生に対しては、必要に応じ、オフィスアワーに限らず、積極的に進路相談に応じた。 ・年次懇談会は年に2回開催し、就職、教職免許、資格関連等の情報提供を行った。さらに、年次のメーリングリストを活用し、懇談会に限らず、情報提供を行えるよう配慮し、実施した。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	0.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	吉田 悦治	所　属	子ども地域教育コース	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	多様な教育現場でのフィールドワーク+教育実践を通した演習授業を展開する。神原小学校（那覇）、、附属小学校、離島での子どもワークショップ、路地裏楽校WS（那覇）等で創造と逸脱から生まれる学び（教材開発）に取り組む。	0.00	附属小学校、神原小学校（那覇）、稲田小学校（名護）、座間味島での授業実践およびワークショップ実践において、教材開発を中心とした演習授業に取り組んだ。
研究	0.30	子どもと地域をつなぐ教育・文化実践の可能性を探求する。主に那覇市安里地区での「路地裏楽校」の教育・文化実践を通して、「場」から生まれる学びの創造に取り組む。	0.00	那覇市安里地区にて「路地裏楽校in安里八幡宮」を実施し、地域住民と協働で地域の個性を活かした教育支援・文化実践活動を探求した。
社会貢献	0.20	授業研究会での指導助言、地域における美術・造形教育に関わる支援に取り組む。	0.00	附属小学校での授業研究会において指導助言を行った。また、障害者週間ポスター審査員、若狭公民館主催のアート・ワークショップ講師等で教育支援に取り組んだ。
管理運営	0.15	学部入試委員において、学部パンフレットWGやオープンキャンパス等の入試業務運営が円滑に行われるよう取り組む。	0.00	学部入試委員では学部パンフWG、オープンキャンパス等の入試業務に取り組んだ。また、来年度から本格実施される教職実践演習の準備に取り組んだ。
進路指導	0.05	認定試験の問題作成等に取り組む。	0.00	認定試験の問題作成、教員採用試験対策として指導案作成・模擬授業等の指導に取り組んだ。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	0.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	尾方隆幸	所　属	教育学部	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	30.00	地理学関係の講義・演習・実習科目にジオパークの内容を取り入れ，地球科学と学校教育・生涯教育との連携を意識した授業を進める。学生に野外巡検の機会をできるだけ多く提供する。	30.00	講義・演習・実習の随所にジオパークの内容を取り入れた。野外巡検は，伊江島（6月），沖永良部島（8月），東北被災地（9月），本部半島（1月），宜野湾（1月），硫黄島（2月），喜界島（2月）の計7回（述べ22日間）実施した。
研究	30.00	地球科学のアウトリーチの一形態としてジオパークをどのように活用するか，地球科学的遺産の保全と活用の両面において実践的な研究に着手し，学術面での体系化を目指す。	30.00	地球科学のアウトリーチと教育との連携に重点を置いた教材開発や実践を行い，複数の報告を投稿した。ジオパーク候補地の地形学的研究を進め，地球科学の全国学会で発表した。ジオサイトの地図化と映像化について「日本自然保護助成基金」より代表者として助成を得て活動を進めた。
社会貢献	20.00	顧問を務める「本部半島ジオパーク推進協議会」において学術的な助言と指導を進める。公開授業「琉球列島地理学概論」および公開講座「本部半島ジオガイド養成講座」において生涯教育を実践する。	20.00	「本部半島ジオパーク推進協議会」の学術的助言と指導のほか，「東村観光推進協議会」におけるジオツーリズムの助言，「沖縄県立博物館・美術館」での講演，浦添市での防災の講演などを引き受けた。公開授業（1科目）と公開講座（2講座）では，学生とジオガイドを目指す社会人が一緒に学ぶ機会を提供した。
管理運営	15.00	全学の教員養成運営委員，学部の教育実習委員，学科の学年指導教員としての任務をこなす。全学の総合環境学副専攻のカリキュラム改良に努める。	15.00	全学の教員養成運営委員，学部の教育実習委員，学科の学年指導教員の任務をこなした。総合環境学副専攻の運営に関わり，カリキュラムの完成度を高めた。全学防災訓練（2月7日実施）のワーキンググループとしてキャンパス全域のハザードマップを作成した。
進路指導	5.00	学科の学生，特にゼミの学生を中心に，自らの専門分野とネットワークを活かした情報を提供する。	5.00	上記の公開授業や公開講座などを通して，学生と，ジオパーク活動を進めている自治体や企業の職員とが接する機会を多く提供した。
	0.00		0.00	
計	100.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	100.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	田 吹　亮 一	所　属	教育学部 生涯教育課程 自然環境科学教育コー	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.40	担当している大学院、学部の講義については、これまで配布してきた授業内容を記したテキストと資料集のバージョンアップを図る。また、パワーポイントによる授業で使う個々のスライドの内容の向上に務めるとともに、受講生からみて分かりやすいものにする作業を継続する。課題研究を行う大学院生（1年）1名、学部生（4年）4名の指導を行う。	0.40	パワーポイントによる授業を行なっているが、全ての授業について、その内容のバージョンアップを行った。一方で、テキスト、資料集の見直しは十分ではなかった。4年次学生4名（自然環境教育コース1名、自然環境科学教育コース2名、理科教育専修1名）の卒論と修士課程1年（理科教育専修）1名の修論の指導を行ってきた。ある程度の結果を得たと思う。
研究	0.30	今年度中に2本の論文の投稿を行い、雑誌に掲載されるようにする。	0.30	論文として田吹他の『離島における野外実習の成果と課題一久米島での2011年度「自然環境フィールドワークIII」の実践報告一』を教育学部紀要第81集（2012年6月公刊）に掲載した。目標に届かず不十分な結果となった。論文発表には至っていないが、特に、沖縄島中南部に分布する知念層（第四紀層）の層序、地質の調査、研究を継続した。
社会貢献	0.15	沖縄県文化財保護審議会専門委員、沖縄県児童生徒科学作品展審査委員等の学外の職務に積極的に対応する。昨年に引き続き、平成24年度の東京都小笠原村の小笠原高校のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトに講師として参加する予定である。	0.15	平成23年度に参加した東京都小笠原村の小笠原高校のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトの継続事業としての小笠原高校の「理科課外授業母島・父島夏季授業」に講師として参加、調査、研究、指導を行うとともに依頼されて高校で講演を行った。沖縄県児童生徒科学作品展審査委員として作品を審査した。課せられた職務をほぼ果たしたと思う。
管理運営	0.05	共同研究推進委員会委員（学部）と資料館運営委員（全学）を務める。	0.05	共同研究推進委員会委員（学部）については委員会に出席した。その他、前期入試の個別学力検査の問題検討委員等、務めた。課せられた職務を果たしたと思う。
進路指導	0.10	「自然環境科学教育コース」4年生の指導教員として進路相談に当たる。	0.10	「自然環境科学教育コース」4年生の指導教員として進路相談等に当たった。課せられた職務を果たしたと思う。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	照屋　俊明	所　属	教育学部　自然環境科学専修	職　名	准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	化学の講義では分子模型、動画を補助教材として用い、有機化合物の三次元構造をより深く理解できるよう試みる。また学生実験では我々の生活にかかわりの深い実験テーマを設定し、学生の興味を刺激できるよう工夫する。	0.25	化学の講義では分子模型をと動画を補助教材として用いた。多くの学生から、黒板に化学式を板書するより、化合物の三次元構造をより深く理解できたという意見があった。また学生実験では石鹸の合成を行った。生活必需品である石鹸の合成は、有機化学の基礎的理解だけでなく、化学が日常生活に役立っていることを理解するための実験として有効あると考えられる。
研究	0.40	沖縄県石垣市の海岸で採集したホヤ類の抽出物が、ヒト腫瘍細胞に対して細胞増殖阻害活性を示すことが明らかになった。今後は活性試験を指標にして腫瘍細胞増殖阻害物質の単離を試みる。	0.40	沖縄県石垣市の海岸で採集したホヤ類の抽出物から3種類の化合物を単離した。そのうち１種類の化合物の構造式を決定した。今後は活性試験を指標にして腫瘍細胞増殖阻害物質の単離を試みる。
社会貢献	0.10	沖縄県石垣市で採集したホヤ類に含まれる腫瘍細胞増殖阻害活性物質を同定することで、沖縄県の未利用海洋資源の付加価値を高めることが出来ると考えられる。	0.10	沖縄県石垣市で採集した未同定のホヤ含まれる腫瘍細胞増殖阻害活性物質を発見した。得られた化合物は抗癌剤のリード化合物として出来るため、沖縄の海洋資源の付加価値を高める事が出来ると考えられる。
管理運営	0.10	理科教育コース、自然環境科学教育コースの教育委員（生涯教育課程部会長）としての職務を遂行する。	0.10	理科教育コース、自然環境科学教育コースの教育委員としての職務を遂行した。また教育委員では生涯教育課程の部会長を務めた。
進路指導	0.15	修士課程に進学した学生１名、４年生３名と密にディスカッションし、学生の希望、目標などを把握し本人の希望に沿った進路に進むことが出来るよう適時助言する。	0.15	研究室に配属されている修士課程二年次の指導を行った。研究については毎朝その日に行う実験のミーティングを行い、週1回月曜日に報告会を行った。学生の研究や就職に対する視野が広がるように、沖縄にある2社のバイオベンチャーと共同研究を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	真栄城　勉	所　属	教育学部生涯健康教育コース 教育学研究科保健体育専修	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	40.00	1.夜間主コースの共通教育(健康運動実技)を担当する。 2.「スポーツ実践ボランティア」で救命技術と海浜プログラムでの安全管理の理論と実践を習得させる。 3.「体育史」で平和とスポーツについて討論しピースフル駅伝を企画実施する。 4.教育学研究科大学院生（1名）の研究指導に関わる。	40.00	1.共通教育（運動・スポーツ科学演習）前後期担当し、生涯スポーツ実技の定着を図った。 2.「スポーツ実践ボランティア」で救命技術と海浜プログラムでの安全管理の理論と実践を習得させ、研修を行った。 3.「体育史」で平和とスポーツについて討論しピースフル駅伝を企画実施した。 4.「体育社会学」で「STOP 体罰指導」を取り上げ学生間での討論会を開催した。 5.教育学研究科大学院生（1名）の指導に関わり、研究デザイン発表を行った。
研究	10.00	1.受託事業10C10001「海を活かした教育に関する実践研究」（日本財団講座）に関わる。	10.00	1.受託事業10C10001「海を活かした教育に関する実践研究」（日本財団講座）に関わり、大学院生が学会発表（2編）と教育学部主催の報告会で発表を行った。
社会貢献	20.00	1.大学公開講座を継続して実施する。 2.教育庁及び自治体から委嘱された委員活動の責務を果たす。 3.各種スポーツ団体等の委員や役員の責務を果たす。	20.00	1.大学公開講座「親父のための健康サッカー講座」を継続して実施した。 2.教育庁及び自治体から委嘱された委員活動の責務を果たした。 3.各種スポーツ団体等の委員や役員の責務を果たした。
管理運営	25.00	1.生涯学習教育研究センター長の業務に勤める。 2.3年次指導教員の業務を勤める。	25.00	1.生涯学習教育研究センター長としてセンター運営委員会円滑な進行に寄与し、毎月のセンター定例会を行い業務を統括遂行した。 2.3年次の指導教員として1･3合宿研修、履修指導などを行った。
進路指導	5.00	現役学生の就職支援及び卒業生の就職関連情報を収集する。	5.00	学生の就職支援情報の収集に努め、1期生から現在までの就職状況データベースを構築した。
	0.00		0.00	
計	100.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	100.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	森山　克子	所　属	生涯教育課程生涯健康教育	職　名	講師

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.35	・「栄養教諭論」「栄養教育実習」を学校現場と調整し実施する。 ・「校外実習」の給食現場を選定して調整して実施する。 ・授業終了時間5分前に授業のふりかえり評価を実施する。		・「栄養教育実習」学校現場と細やかに調整してそれぞれの学生にあった指導をおこなった。 ・「校外実習」は学生の自宅から通えて指導能力の高い指導者が勤務する調理場を選定でいるよう調整し依頼でした。 ・授業終了後のふりかえり評価を実施した。
研究	0.30	・附属小学校との連携による共同研究 ・海を活かした教育に関する実践研究		・附属小学校との連携による共同研究「指導方法の検討」を実施した。 ・海を活かした教育に関する実践研究「海に関する食品を使用した調理実習」の実践研究と実施した。
社会貢献	0.15	・大学公開講座「栄養教諭と教諭のための食育を考える講座」の実施 ・沖縄県スポーツ振興審議会委員　・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・教職員経験者研修講師		・大学公開講座「栄養教諭と教諭のための食育を考える講座」の実施した。 ・沖縄県スポーツ振興審議会委員 ・公益法人沖縄県学校給食会評議員 ・附属小学校健康教育研究部の研究授業の助言者 ・栄養教諭、学校栄養職員の初任者研修会講師 ・教職員経験者研修講師として貢献した。
管理運営	0.10	・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等 ・教育実習委員として支援と指導を行う　・大学の生涯学習センター委員		・教育実習委員として介護体験等の指導、当該施設へ訪問等を行った。 ・教育実習委員として支援と指導を行う　・大学の生涯学習センター委員として運営管理にあたった。
進路指導	0.10	・進路指導のための個別面談指導		・進路指導のための個別面談指導のために、学生の希望職種の方から学ぶ機会をもち進路を行った。
	0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	0.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

名　前	富永大介	所　属	教育学部	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	講義シラバスを充実し，講義科目が記載されているHPを作成し，講義の一般化をはかる。 心理臨床科学コース「心理療法実習１．２」の実習１．２の施設である保育所・幼稚園実習の充実をはかる	0.30	講義科目毎のHP作成，および教材開発を積極的に行い，初設定した以上に，共通教育，専門教育，大学院教育に精力的に関わってきた。 いくつかの実習科目では，学生と共に現場に足を運び，学生と施設の関係者との密接な関係を構築する努力をした。
研究	0.30	科学研究費基盤研究（C）「脳障害者の認知機能評価に関する生態学的妥当性に関する神経心理学的研究」を申請したが，不採用となった。この内容に沿った研究業績を積み，来年度の申請に向けて，業績を蓄積する。 厚生労働省科学研究分担研究「臨床症状を伴う前頭縫合早期癒合症の病因・病態と診断・治療に関する研究」 「教育心理学」(仮称)の本の出版に当たり，その編集と出版を行う。	0.30	科学研究費基盤研究'（C）は，不採用となった。今後テーマの精選をする必要がある。一方，厚生労働省科学研究費分担研究では，その成果を教育心理学会で発表した。 教育心理学(仮称)の編者として編集作業の進行中である。
社会貢献	0.20	教員免許状更新講習会講師 「心の臨床アラカルト(子ども理解のための科学と実践)」，「特別支援教育のための脳科学と心理学入門」の講義をおこなう。 平成24年度(2012)沖縄開催の教育心理学会の総会委員長として学会活動を通して研究に打ち込む。全国から約2000名の会員の参加予定。	0.20	研究上の専門性を活かした，目標通りの社会貢献を行った。 学術的貢献である，全国規模の日本教育心理学会第54回総会の準備委員長として開催した。
管理運営	0.10	琉球大学大学院教育学研究科臨床心理学専攻の主任としての仕事を全うする。特に，入試，就職について積極的な学生を指導する	0.10	重要な管理運営業務を遂行した。
進路指導	0.10	学部心理臨床科学コースの4年次の指導教員として，学生の生活指導にあた	0.10	学生の生活指導を半年ごとに行った。
	0.00		0.00	
計	1.00		1.00	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	金城昇	所　属	教育学部生涯教育課程心理臨床科学コース	職　名	教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.30	ひきつづきライフスキル教育を基礎とした新たな健康教育プログラム開発と実践を進める。学校・地域健康教育を広げるためライフスキル教育研究会を主催するとともに，ワークショップを開催する。	0.20	沖縄ライフスキル教育研究会を主宰sるとともに，学校・地域健康教育に従事する教員・栄養士・保健師を対象にワークショップを開催しライフスキル教育を基礎とした健康教育プログラムの普及をはかった。また，新たに開発したプログラムをアフリカ・中南米・ミャンマーからの研修員（JICA事業）の研修を通して専門家養成に活用した
研究	0.15	南城市・恩納村（地域健康教育），宜野湾市・読谷村（介護予防事業）の受託研究をひきつづき進め報告書としてまとめる（受託研究費総額2,300万円）。第20回日本臨床動作学会大会長として琉大にて開催する（9月）。	0.15	南城市・恩納村（地域健康教育），宜野湾市・読谷村（介護予防事業）の研究をひきつづき受託し，日頃の研究成果を地域貢献に活かした。現在報告書としてまとめている。（受託研究費総額2,300万円）。第20回日本臨床動作学会大会長として琉大にて開催する（9月）とともに，シンポジストとして報告した。
社会貢献	0.10	健康おきなわ2010策定栄養・運動部会長として中間評価を実施する。西原町・うるま市・南城市健康づくり推進会議委員，宜野湾市国保運営協議会会長，地域密着型サービス運営委員としてつとめる。JICAアフリカ，中南米地域母子保健強化コース講師として協力する。	0.10	健康おきなわ2010策定栄養・運動部会長として中間評価を実施した。現在県民へのパブリックコメントを実施中である。西原町・うるま市・南城市健康づくり推進会議委員，宜野湾市国保運営協議会会長，地域密着型サービス運営委員として委員会に貢献した。JICAアフリカ，中南米地域母子保健強化コース講師として協力した。追加研修会として，ミャンマーの研修にも加わった。
管理運営	0.35	生涯教育課程長（副学部長）として課程運営に学部長を補佐する。学生生活委員長として学生生活全般の指導にあたる。発達支援教育実践センターの運営にあたる。	0.40	生涯教育課程長（副学部長）として課程運営に努めるとともに，学部長を補佐した。また学生生活委員長として学生生活全般の指導及び支援にあたった。発達支援教育実践センターの運営及び県民や教員を対象としたセミナーの開催や地域支援にあたった。
進路指導	0.10	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動に努める。学部学生の就職活動等の指導にあたる。	0.15	コース・ゼミ学生の進路指導や就職活動の指導及び支援を行った。学部学生の就職活動や就学指導，メンタル支援に努めた。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。